

中国寧波方言における反復疑問文*

林 璋

本文首先以选项数作为标准对现代汉语的疑问句进行了分类。宁波方言的非合成否定词有“勿”、“弗”和“既没”3个，本文从时和体的角度对此进行考察，发现“勿/弗”和“既没”在时和体上呈互补关系：“勿/弗”用于未来，“既没”用于非未来、持续和完成。宁波方言动词的“V-neg-V”式反复问句中的“neg”的分布基本上与否定句的分布一致，而形容词则不一致。本文证明了“哦”问句是“VP-neg”式反复问句。本文最后考察了宁波方言反复问句中宾语前移的问题，指出这一现象的原因：当肯定句或否定句的任何一方出现宾语主题化时，反复问句的宾语也主题化。

0. はじめに

1. 中国語の疑問文の種類
2. 寧波方言の否定詞と“V-neg-V”式反復疑問文
3. 寧波方言の“VP-neg”式反復疑問文
4. 寧波方言反復疑問文の語順問題
5. まとめ

0. はじめに

本稿の中心的な課題は、中国浙江省寧波方言における反復疑問文について記述することである。共時的に見て、現代中国語(標準語)と各方言との間には、反復疑問文に関する多くの共通点が見られる。そのため、第1節では現代中国語における各種の疑問文の特徴を検討することを通して、反復疑問文の同定方法を見出す。第2節では寧波方言の否定詞と“V-neg-V”式反復疑問文について

* 本研究は筑波大学「東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究」(特別プロジェクト長：鈴木英一)および文部省科学研究費補助金・基盤研究B(2)「言語間の差異に関する記述的・理論的総合研究」(研究代表者：鷲尾龍一)の助成を受けている。

で観察する。第3で節は、“嘸”疑問文における“嘸”の性格について議論し、“嘸”疑問文が“VP-neg”式反

復疑問文であることを証明する。第4で節は、“嘸”の文法化について検討し、第5で節は、寧波方言の反復疑問文に見られる語順交替について記述する。

1. 中国語の疑問文の種類

現代中国語(標準語)と方言の間には、少なくとも疑問文に関しては多くの共通点があるといわれている。このセクションでは、標準語の各種の疑問文に関する先行研究の分析を紹介しつつ、構文的性質に基づいた新たな分類を提案することにする。

現代中国語では、疑問を表す構文形式として、次の(1)に示されるようなものがある。(1a)と(1b)はイエスノー疑問文(中国語では普通“是非問句”)という。以下同様、(1c)は選択疑問文(“选择问句”), (1d)と(1e)は反復疑問文(“反复问句”)または正反疑問文(“正反问句”), (1f)は疑問詞疑問文(“特指问句”)と呼ばれている。¹

- (1) a. 你 昨天 去 西湖 了? [イエスノー疑問文]
君は昨日西湖へ行きましたか。
- b. 你 昨天 去 西湖 了吗? [イエスノー疑問文]
君は昨日西湖へ行きましたか。
- c. 你 是 去了 公园 还是 去了 电影院? [選択疑問文]
君は公園へ行きましたか、それとも映画館へ行きましたか。
- d. 你 昨天 去 西湖 了 没有? [反復疑問文]
君は昨日西湖へ行きましたか。
- e. 你 明天 去 不 去 西湖? [反復疑問文]
君はあした西湖へ行きますか。

¹ 中国語ではこれ以外に、日本語の「佐藤さんは？」に相当する“呢”を用いた“小王呢？”のような疑問文もあるが、述語を持たない点で、本稿で取り上げる疑問文の構文形式とは異なるので、議論の対象にしない。“呢”疑問文に関しては、陸俊明 1982 を参照されたい。

なお、袁毓林 1993 では、反復疑問文と正反疑問文が区別されている。

f 你要去哪里？

[疑問詞疑問文]

君はどこへ行きますか。

イエスノー疑問文とは、その質問に対する答えとして、イエスに相当する“是”，“是的”，“对”とノーに相当する“不”などで応答可能なことから命名されたものであるが，(1a)のように上昇のイントネーションで作る場合と(1b)のように“吗”を疑問マーカ―とする場合がある。袁毓林 1993は“吗”疑問文の内部が同質ではなく，(2b)のように，“吗”が用いられた疑問文であっても“对”で応答できない場合があることを指摘した上で，“吗”疑問文は反復疑問文とイエスノー疑問文の両方に入れるべきだと述べている。

(2) a 你知道这事？

君はこの事を知っている？

对。

ええ。

b. 你知道这事吗？

君はこの事を知っているか？

*对。

(ええ。)²

疑問詞疑問文は，疑問詞が使われているため、弁別しやすい。選択疑問文は並立した事象を並べることによって構成され，反復疑問文は肯定と否定の繰り返しによって構成されるというのが一般的な見方である。³問題は，これらの疑問文がお互いにどのような関係で中国語の疑問文の体系を構成しているのかということである。

1.1. 先行研究

1.1.1. 陆俭明 1982 は，“是非问句”（イエスノー疑問文），“特指问句”（疑問

² 議論の対象となる文が非文である場合，日本語訳に括弧を付ける。

³ 朱德熙 1985は蘇州方言のような“阿 VP”型疑問文も反復疑問文としているが，寧波方言にはこのような疑問文がないため，本稿では狭義的に肯定と否定の繰り返しによるものを反復疑問文とする。

詞疑問文)，“选择问句”(選択疑問文)の三つを挙げて、その関係を(3)のように示している。“是非问句”は非疑問形式で構成され，“特指问句”と“选择问句”は疑問形式で構成される。“是非问句”には“吗”が付くが，“特指问句”と“选择问句”には“呢”が付く。本稿の議論する対象である反復疑問文は，“选择问句”に入れられている。

- | | | | |
|-----|------|-----------------------|------|
| (3) | I | | 是非问句 |
| | II { | II _a | 特指问句 |
| | | II _b | 选择问句 |

1.1.2. 范继淹 1982 は“吗”疑問文と“V不(没)V”の各種の形式(すなわち本稿で言う反復疑問文)を“是非选择问句”(イエスノー選択疑問文)と呼び、選択疑問文の特殊な形式と見なしている。また、(1c)のような、本稿で言う選択疑問文を“特指选择问句”(指定選択疑問文)と呼んでいる。特定の項目を答えとして選ぶことを相手に要求するのが“特指选择问句”で、肯定または否定を答えとして選ぶことを相手に要求するのが“是非选择问句”であると述べている。邵敬敏(1999: 540)は、范继淹 1982 が主張した疑問文の体系を(4)のようにまとめている。

- | | | | |
|-----|-------|--------|--------|
| | | 特指问句 | |
| (4) | 疑问句 { | 选择问句 { | 特指选择问句 |
| | | | 是非选择问句 |

1.1.3. 邵敬敏 1999 は、すべての疑問文をある種の「選択」と見てよいとして、上述の范继淹と同じように、答えの求め方によって“是非选择”(イエスノー選択)と“特指选择”(指定選択)を区別した。次の(5)のように、“正反问句”を立てるところは范继淹と異なる。

- | | | | | |
|-----|-----|---|----------|-----------------|
| (5) | 疑问句 | { | 是非选择问句 { | 单项是非选择问句 (是非问句) |
| | | | | 双项是非选择问句 (正反问句) |
| | | | 特指选择问句 { | 有定特指选择问句 (选择问句) |
| | | | | 无定特指选择问句 (特指问句) |

1.2. 選択肢の項目数で疑問文を分類する

1.2.1. どのような分類の方法を採るかは疑問文への認識に基づくものと思われるが、以上見てきたように、疑問文への認識は研究者によってまちまちであることが分かる。范继淹 1982 と邵敬敏 1999 は話し手が相手に求める答えに基づいて疑問文を分析したのに対して、陆俊明 1982 は疑問文自身の構文的性質によって分析したと言えよう。

筆者は疑問文自身の構文的性質で考察する立場を取るが、陆俊明 1982 とは違った方法で観察する。陆俊明 1982 の分析方法は標準語である普通話の分析としては一定の成果をあげているとしても、方言をも視野に入れた中国語について考える場合、必ずしもそれが適用できるとは限らないからである。“呢”が付くか“吗”が付くかというテストは、“吗”という形態を持たない方言や“吗”の機能に相当する形態を持たない方言には有効ではない。そこで、本稿は方言を考慮に入れて、あらためて標準語の疑問文の分類を試みる。

1.2.2. 本稿では、疑問文の選択肢の項目数を分類の基準とする。まず、例(1)に、副詞“到底/究竟”と共に起できるかどうかテストしてみる。その結果は(6)の通りである。

- (6) a. *你 昨天 到底 去 西湖 了? [イエスノー疑問文]
 (*君は昨日いったい西湖へ行った(の)か。)
- b. *你 昨天 到底 去 西湖 了 吗? [イエスノー疑問文]
 (*君は昨日いったい西湖へ行った(の)か。)
- c. 你 到底 是 去了 公园 还是 去了 电影院? [選択疑問文]
 君はいったい西湖へ行ったのか、映画館へ行ったのか。
- d. 你 昨天 到底 去 西湖 了 没有? [反復疑問文]
 君は昨日いったい西湖へ行ったのか行かなかったのか。
- e. 你 明天 到底 去 不 去 西湖? [反復疑問文]
 君はいったいあした西湖へ行くのか行かないのか。
- f. 你 到底 要 去 哪里? [疑問詞疑問文]
 君はいったいどこへ行こうとしているのか。

このテストで疑問文が二つに分かれた。“到底/究竟”と共に起できないのはイエスノー疑問文だけで、選択疑問文、反復疑問文と疑問詞疑問文は“到底/究竟”

と共起できる。⁴共起可能かどうかは選択肢の項目数によるものと考えられる。イエスノー疑問文には選択肢が一つしかない。それに対して、他の3種類の疑問文には複数の選択肢がある。つまり、“到底/究竟”を使って、疑問文の選択肢の項目数が一つだけか複数あるかを判別することができる。

選択肢が一つしかない以上、イエスノー疑問文への答えはその一つしかない選択肢そのものに対して同意するか、それとも反対するかのいずれかになる。必然の結果として、その答えに同意する場合は“是”、“是的”、“对”の使用が許されるのである。

1.2.3. “吗”疑問文について少し説明する必要がある。“到底/究竟”のテストが示すように、このタイプの疑問文には選択肢が一つしかない。従って、“是”、“是的”、“对”で応答可能なはずだが、(2b)のように、それができないケースもある。袁毓林 1993 が指摘したように、“吗”疑問文の内部が同質でないためである。同質でない原因は、標準語の“吗”が近代中国語の“VP-neg”反復疑問文の“neg”の位置に使われていた“无”が文法化してできたものだということにある。“吗”が“无”の文法化したものだということは、既に多くの学者によって指摘されているが、“是”、“是的”、“对”で応答不可であるところからみて、現在でも“吗”疑問文のイエスノー疑問文への文法化の過程はまだ完成していないことが分かる。

1.2.4. 複数の選択肢を持つ反復疑問文、選択疑問文と疑問詞疑問文は、選択肢の提示方法によって二つに分けられる。選択疑問文(6c)と反復疑問文(6e)では選択肢が明示的に提示されるのに対して、疑問詞疑問文(6f)では疑問詞を使用することによって選択肢の明示的な提示がなされていない。即ち、明示的か非明示的かによって選択疑問文・反復疑問文が疑問詞疑問文と対立をなす。

選択疑問文に関して、陆俭明 1982 は“(是) A 还是 B”、“V 不 V”と“V 了没有”といった並立構文を挙げた。反復疑問文は並立構文であるから選択疑問文に入れられた。それに対し、范继淹 1982 は反復疑問文をイエスノー疑問文に入れた。いずれも反復疑問文を一つの独立した類として立てない立場を取っている。イエスノー疑問文と反復疑問文の相違については既に述べたが、選択疑

⁴ 日本語の「いったい/一体全体」は“到底/究竟”に相当する副詞である。中国語と同様、「はい/ええ」で応答可能のイエスノー疑問文とは相性が悪い。

なお、中川 1984 も“到底/究竟”をテストに使ったが、イエスノー疑問文と反復疑問文の区別にだけ使った。(p148)

問文と反復疑問文との間に、違いがあるだろうか。あるとすれば、どんな点において違うのだろうか。

反復疑問文は肯定の選択肢と否定の選択肢の繰り返し(即ち「反復」)によって構成される。従って、反復疑問文の選択肢は肯定と否定の2項目に限られることになる。しかも、(7b)のように接続詞(“连词”)“还是”がなくても成立する。一方、選択疑問文が成立するためには“还是”などの接続詞が必要である。“还是”のない(8b)は非文になる。

(7) a 你去 还是 不去?

君は行くかいそれとも行かないかい。

b. 你去 不去?

君は行くかい。

c.*你去 不去, 还是 张三 去?

(君が行くんですか、それとも張三が行くんですか。)

(8) a. 张三 去, 还是 李四 去?

張三が行くんですか、それとも李四が行くんですか。

b.*张三 去, 李四 去?

(張三が行くんですか、李四が行くんですか。)

また、選択疑問文は“还是”等の接続詞を使用するため、選択肢が3つ以上になる場合も可能である。現に、(9)は3つの選択肢を用いた実例である。

(9) “怎么勾搭上的? 大街上还是人家里, 或是别的什么社交场合?”

(王朔《无人喝彩》)

「どのようにナンパしたんだい? 町でかい、人の家でかい、それともほかの何かの社交の場かい?’

現代中国語では、選択疑問文と反復疑問文はこのように2点において相違する。選択疑問文は接続詞の使用を必要とし、3つ以上の選択肢を持つことが可能である。反復疑問文は、選択肢の項目数が肯定と否定の2項目に限られ、接続詞の使用を必要としない。

以上述べたところをまとめると、次の(10)のように示すことができる。

疑問文	{	単一選択肢	イエスノー疑問文	
		複数選択肢 {	明示的選択肢 {	選択肢追加可	選択疑問文
				選択肢追加不可	反復疑問文
			非明示的選択肢	疑問詞疑問文

2. 寧波方言の否定詞と“V-neg-V”式反復疑問文

寧波方言の反復疑問文には“V-neg-V”式と“VP-neg”式の2種類がある。この節では寧波方言の否定詞と“V-neg-V”式反復疑問文の関係について考察する。

2.1. 寧波方言の否定詞

寧波方言の否定詞には、非合成語と合成語がある。前者は“弗”(fa²⁵)、“勿”(va²)、“既没”(ma²)の3つである。後者は“勿”がムード助動詞“会”、“要”、“用”とそれぞれ合成してできた否定詞で、本稿ではそれらを考察の対象外とする。

2.1.1. 未来の場合、(11)のように、動詞文は“弗”と“勿”の二つを使う。⁵ 非未来の場合は、(12)のように動詞文は“既没”しか使えない。

- (11) a.[寧波語] 其 明朝 西湖 弗/勿 去。 [動詞文・未来]
 [標準語] 他 明天 不 去 西湖。
 彼はあした西湖へ行かない。
- b.[寧波語]*其 明朝 西湖 既没 去。 [動詞文・未来]
 [標準語]*他 明天 没 去 西湖。
 (彼はあした西湖へ行かない。)
- (12) a.[寧波語] 其 昨末 既没 去 西湖。 [動詞文・非未来]
 [標準語] 他 昨天 没 去 西湖。
 彼は昨日西湖へ行かなかった。
- b.[寧波語]*其 昨末 弗/勿 去 西湖。 [動詞文・非未来]
 [標準語]*他 昨天 不 去 西湖。
 (彼は昨日西湖へ行かなかった。)

⁵ 否定文では、“弗”と“勿”の分布がほぼ同じであるが、“勿”が口語的である。

2.1.2. 寧波方言の存在文は、未来・非未来を問わず、“既没”によって否定するが、これは決して上に述べた否定詞の使い分けの例外ではない。と言うのは、寧波方言には存在動詞というものがなく、(13)のように、「来ている」を意味する言い方“来当”と“来该”等によって存在を表現する。“来当”が近称、“来该”が遠称という場所指示の働きをもする。⁶

- (13) a.[寧波語] 其 该响 屋里 来当。 [存在文・非未来]
 [標準語] 他 这会儿 在 家里。
 彼はいま家にいます。
- b.[寧波語] 其 明朝 屋里 既没 来当。 [存在文・未来]
 [標準語] 他 明天 不 在 家里。
 彼はあした家にいません。
- c.[寧波語] 其 昨末 屋里 既没 来该。 [存在文・非未来]
 [標準語] 他 昨天 不 在 家里。
 彼は昨日家にいませんでした。

“～当”，“～该”と“～的”は継続を表すアスペクトマーカであり、これらは存在文以外の構文にも広く使われる。(14a)の“去该”は、「行ってそこにいる」という意味である。そして、存在文と同じように、その否定形には“弗/勿”ではなく、“既没”が使われる。さらに、(15)のように、動作の継続を表す“来当/来该/来的+V”構文の否定も同じように、“既没”を用いる。

- (14) a.[寧波語] 阿姆 昨末 去该 囉。 [結果継続]
 [標準語] 妈妈 昨天 去 了。
 お母さんはきのう行った。
- b.[寧波語] 电视 既没 开当。 [結果継続]
 [標準語] 电视 没 开着。
 テレビがついていない。

⁶ 結果継続を表すものにもう一つ“来的”があるが、場所指示ではなく、話者が関心を持っていることについて言う場合に用いる。

なお、ここでいう近称とは、話者が発話する時点にいる場所を指す。遠称とは、話者が発話の時点にいない場所を指す。

- c.[寧波語]*电视 弗/勿 开当。 [結果継続]
 [標準語]*电视 不 开着。
 (テレビがついていない。)
- (15) a.[寧波語] 其 该响 来的 看 电视。 [動作継続]
 [標準語] 他 这会儿 在 看 电视。
 彼は今テレビを見ている。
- b.[寧波語] 其 该响 既没 来的 看 电视。 [動作継続]
 [標準語] 他 这会儿 没 在 看 电视。
 彼は今テレビを見ていない。
- c.[寧波語]*其 该响 弗/勿 来的 看 电视。 [動作継続]
 [標準語]*他 这会儿 不 在 看 电视。
 (彼は今テレビを見ていない。)

2.1.3. 寧波方言には、完了に関わるアスペクトマーカ―に文中に現れる“勒”と文末に現れる“嘸”があるが、その否定表現は(16b)と(17b)のように、“既没”を用いる。“弗/勿”を使った(16c)はもはや完了の否定ではない。(17c)は非文である。

- (16) a.[寧波語] 我 买勒 一 辆 脚踏车。 [完了]
 [標準語] 我 买了 一 辆 自行车。
 ぼくは自転車を買った。
- b.[寧波語] 我 既没 买 脚踏车。 [完了]
 [標準語] 我 没 买 自行车。
 僕は自転車は買っていない。
- c.[寧波語]*我 弗/勿 买 脚踏车。
 [標準語] 我 不 买 自行车。
 僕は自転車は買わない。
- (17) a.[寧波語] 雨 停 嘸。 [完了]
 [標準語] 雨 停 了。
 雨が止んだ。
- b.[寧波語] 雨 还 既没 停。 [完了]
 [標準語] 雨 还 没 停。
 雨はまだ止んでいない。

- c.[寧波語]*雨 还 弗/勿 停。 [完了]
 [標準語]*雨 还 不 停。
 (雨はまだ止んでいない。)

2.1.4. 木村 1982 の「已然」、「未然」で言えば、以上の観察で動詞の否定文には已然なら“既没”が使われ、未然なら“弗/勿”が使われるということが判明した。

だが、形容詞への否定は動詞への否定とは異なり、また標準語における形容詞への否定とも異なる。標準語では、形容詞への否定は未来も非未来も属性も共に“不”が用いられ、“没(有)”が使えない。それに対して、寧波方言では、未来の場合は(18a)のように“弗/勿”を使い、非未来の場合は(18c)のように“既没”を使う。

- (18) a.[寧波語] 明朝 弗/勿 热。 [形容詞文・未来]
 [標準語] 明天 不 热。
 あしたは暑くない。
- b.[寧波語]*明朝 既没 热。 [形容詞文・未来]
 [標準語]*明天 没 热。
 (あしたは暑くない。)
- c.[寧波語] 昨末 既没 热。 [形容詞文・非未来]
 [標準語]*昨天 没 热。
 昨日は暑くなかった。
- d.[寧波語]*昨末 弗/勿 热。 [形容詞文・非未来]
 [標準語] 昨天 不 热。
 (昨日は暑くなかった。)

標準語では、参照時以前にその状態になっていることを示す“已经”(もう、すでに)を含む形容詞文も、参照時現在まだその状態になっていないことを示す“还”(まだ)を含む形容詞文もともに“不”を使って否定する。一方、寧波方言では、“已经”と“还”が用いられている文では、“勿/弗”が使われるが、“既没”が非未来の場合にだけ使われ、“没”が未来の場合にだけ使われる。

- (19) a.[寧波語]?下 礼拜 已经 勿/弗 冷 嘞。 [形容詞文・未来]
 *下 礼拜 已经 既没 冷 嘞。
 下 礼拜 已经 鲶 冷 嘞。
 [標準語] 下个星期 已经 不 冷 了。
 来週はもう寒くない。
- b.[寧波語] 下 礼拜 还 勿/弗 冷。 [形容詞文・未来]
 *下 礼拜 还 既没 冷。
 下 礼拜 还 鲶 冷 咯。
 [標準語] 下个星期 还 不 冷。
 来週はまだ寒くない。
- (20) a.[寧波語] 上 礼拜 已经 勿/弗 冷 嘞。 [形容詞文・非未来]
 上 礼拜 已经 既没 冷 嘞。
 *上 礼拜 已经 鲶 冷 嘞。
 [標準語] 上个星期 已经 不 冷 了。
 先週はもう寒かった。
- b.[寧波語] 上 礼拜 还 勿/弗 冷。 [形容詞文・非未来]
 上 礼拜 还 既没 冷。
 *上 礼拜 还 鲶 冷。
 [標準語] 上个星期 还 不 冷。
 先週はまだ寒くなかった。

時間設定とは直接関係しない属性については, (21ab)のように“弗/勿”と“既没”の両方が使える。この場合, “既没”が事実そのものを否定するのに対して, “弗/勿”は話者の判断を示す傾向がある。

- (21) a.[寧波語] 该 间 房间 弗/勿 大。 [形容詞文・属性]
 [標準語] 那个 房间 不 大。
 その部屋は大きくないです。
- b.[寧波語] 该 间 房间 既没 大。 [形容詞・属性]
 [標準語]*那个 房间 没 大。
 その部屋は大きくないです。

- c.[寧波語] 我想该间房间弗/勿大。 [形容詞・属性]
 *我想该间房间既没大。
 [標準語] 我想那间房间不大。 [形容詞・属性]
 その部屋は広くないと思う。

2.1.5. 以上観察してきた寧波方言の否定表現をまとめると、次の表1のようなになる。動詞文について言えば、寧波方言の否定詞“弗/勿”と“既没”は相補分布の関係にあることが分かる。形容詞文の場合は、状態と属性で分かれる。時間と関係のある未来・非未来の状態の否定は動詞の已然・未然と平行しているが、時間と関係のない属性の否定には、3つの否定詞がともに使える。

(22) 表1

	動 詞		形 容 詞		
	未 然	已 然	未 来	非未来	属 性
弗	+	-	+	-	+
勿	+	-	+	-	+
既没	-	+	-	+	+

2.2. “V-neg-V”式反復疑問文

2.2.1. 寧波方言の3つの否定詞は何れも“V-neg-V”式反復疑問文の“neg”の位置に現れる。(23)は動詞・未来の用例で、“弗”と“勿”を使うが、“既没”を使った(23c)は非文である。(24)は形容詞・未来の用例であるが、“既没”が使えないのは動詞と同じである。(25)は形容詞・属性の用例で、使えるのは(25a)の“弗”のみである。(26)の動詞・非未来では、言えるのは“既没”を使う(26c)だけである。(27)は形容詞・非未来の用例であるが、(24)の形容詞・未来と同様である。(28)は結果の継続、(29)動作の継続、(30)は完了だが、いずれも“既没”しか使えない。

- (23) a.[寧波語] 其明朝西湖去弗/勿去? [動詞・未来]
 [標準語] 他明天去不去西湖?
 彼はあした西湖へ行きますか。

- b.[寧波語]*其 明朝 西湖 去 既没 去? [動詞・未来]
 [標準語]*他 明天 去 没 去 西湖?
 (彼はあした西湖へ行きますか。)
- (24) a.[寧波語] 明朝 热 弗/勿 热? [形容詞・未来]
 [標準語] 明天 热 不 热?
 あしたは暑いですか。
- b.[寧波語]*明朝 热 既没 热? [形容詞・未来]
 [標準語]*明天 热 没 热?
 (あしたは暑いですか。)
- (25) a.[寧波語] 该 间 房间 大 弗 大? [形容詞・属性]
 [標準語] 那个 房间 大 不 大?
 その部屋は大きいですか。
- b.[寧波語]*该 间 房间 大 勿 大? [形容詞・属性]
 [標準語] 那个 房间 大 不 大?
 (その部屋は大きいですか。)
- c.[寧波語]*该 间 房间 大 既没 大? [形容詞・属性]
 [標準語]*那个 房间 大 没 大?
 (その部屋は大きいですか。)
- (26) a.[寧波語]*依 昨末 西湖 去 弗/勿 去? [動詞・非未来]
 [標準語]*你 昨天 去 不 去 西湖?
 (君は昨日西湖へ行きましたか。)
- b.[寧波語] 依 昨末 西湖 去 既没 去? [動詞・非未来]
 [標準語] 你 昨天 去 没 去 西湖?
 君は昨日西湖へ行きましたか。
- (27) a.[寧波語] 昨末 热 弗/勿 热? [形容詞・非未来]
 [標準語] 昨天 热 不 热?
 昨日暑かったですか。
- b.[寧波語]*昨末 热 既没 热? [形容詞・非未来]
 [標準語]*昨天 热 没 热?
 (昨日暑かったですか。)
- (28) a.[寧波語]*电视 开 弗/勿 开的? [結果継続]
 [標準語]*电视 开 不 开着?
 (テレビがついていますか。)

- b.[寧波語] 电视 开 既没 开的? [結果継続]
 [標準語] 电视 开 没 开着?
 テレビがついていますか。
- (29) a.[寧波語]*其 该响 来 弗/勿 来的 看 电视? [動作継続]
 [標準語]?他 这会儿 在 不在 看 电视?
 (彼は今テレビを見ていますか。)
- b.[寧波語] 其 该响 来 既没 来的 看 电视? [動作継続]
 [標準語] 他 这会儿 在 没 在 看 电视?
 彼は今テレビを見ていますか。
- (30) a.[寧波語]*雨 停 弗/勿 停? [完了]
 [標準語]*雨 停 不 停?
 (雨が止みましたか。)
- b.[寧波語] 雨 停 既没 停? [完了]
 [標準語] 雨 停 没 停?
 雨が止みましたか。

2.2.2. 以上の観察をまとめると、次の表2の通りである。“V-neg-V”式反復疑問文は肯定と否定の繰り返しによって構成されるが、ここでも動詞文と形容詞文は、違った振舞いを見せている。動詞の場合は、“V-neg-V”式反復疑問文における“neg”の分布は否定詞の分布と一致する。それに対して、形容詞は属性の場合にだけ“勿”を使わない点を除けば、未来と同じ分布になっている。

(31) 表2

	動 詞		形 容 詞		
	未 然	已 然	未 来	非未来	属 性
弗	+	-	+	+	+
勿	+	-	+	+	-
既没	-	+	-	-	-

2.2.3. 寧波方言の“V-neg-V”式反復疑問文には、(32)のように、“V”と“neg-V”の間に目的語を置くことができないという制限がある。

- (32) [寧波語]*依 去 西湖 弗/勿 去?
 [標準語] 你 去 西湖 不 去?
 (君は西湖へ行きますか。)

3. 寧波方言の“VPneg”式反復疑問文

3.1. “嘸”による疑問文

寧波方言には文末に“嘸”を用いるもう一つのタイプの疑問文がある。“嘸”による疑問文は、“VnegV”式反復疑問文とは違って、時制やアスペクトの制限を受けない。(33a)は未来,(33b)と(33c)は非未来,(33d)は結果の継続,(33e)は動作の継続,(33f)は完了を表す文である。

- (33) a.[寧波語] 依 明朝子 西湖 去 嘸? [動詞・未来]
 [標準語] 你 明天 西湖 去 不?
 君はあした西湖へ行きますか。
- b.[寧波語] 依 昨末 西湖 去掉 嘸? [動詞・非未来]
 [標準語] 你 昨天 去 西湖 了 没有?
 君はきのう西湖へ行きましたか。
- c.[寧波語] 昨末 有 热 嘸? [形容詞・非未来]
 [標準語] 昨天 热 不 热?
 昨日は暑かったですか。
- d.[寧波語] 电视 的 嘸? [結果継続]
 [標準語] 电视 开着 吗?
 テレビはついていますか。
- e.[寧波語] 其 该 响 来的 看 电视 嘸? [動作継続]
 [標準語] 他 这会儿 在 看 电视 吗?
 彼は今テレビを見ていますか。
- f.[寧波語] 雨 停 勒 嘸? [完了]
 [標準語] 雨 停 了 没有?
 雨は止みましたか。

3.2. 先行研究

このセクションで朱彰年他1996の『寧波方言詞典』と湯珍珠他1997の『寧

波方言詞典』について、その音韻と文法に関する記述を中心に紹介し、両者の相違について検討する。

3.2.1. 文末の“噠”について、朱彰年他 1996 は「助詞。疑問を表わし、“吗”に相当する」(p254)と記述し、湯珍珠他 1997 は「反復疑問文の否定詞。動詞または形容詞に後続して、“…不…”または“…了没有…”の意を表わす」(p59)としている。共に方言辞書の見出し語としての“噠”に関する記述だが、その内容にかなりの隔たりがあることがわかる。第 1 節で述べた中国語(標準語)の疑問文の種類で言えば、朱彰年他の言う「“吗”に相当する」疑問文であるなら、イエスノー疑問文になり、湯珍珠他の言う反復疑問文とは別物ということになる。この“噠”とは、いったい何であろうか。

3.2.2. 朱彰年他 1996 は“噠”の発音を[vaʔ²]と記述し、湯珍珠他 1997 は va²⁴と記述している。朱彰年他 1996 には“勿”についての記述はない。“弗”という見出し語に、[faʔ⁵]という発音と意味を記述した上で、“勿”とも書く、としか記述していない。“弗”と“勿”が同じ物であるかのような記述をしている。

湯珍珠他 1997 では、“勿”を veʔ¹²と記述し、va²⁴と記述する“噠”とは区別している。そして、“噠”は否定詞“勿”+ムード詞“啦”(la⁵³)の合成語である可能性があるとして指摘している。(34)の記述からも分かるように、湯珍珠他は、“勿”にはムード詞が入っていないから、“勿啦”と言えるのに対して、“噠”には既にムード詞“啦”が入っているから、“噠”だけで疑問文を構成できると考えている。

(34) 寧波方言では標準語の“这苹果甜不甜?”(このリンゴは甘いですか。)に相当する反復疑問文は 2 通りある。

- A. 该苹果甜噠? B. 该苹果有甜噠?
 该苹果甜勿啦? 该苹果有甜勿啦?
 该苹果甜𪛗? 该苹果有甜𪛗?

“该苹果甜勿甜?”とはあまり言わない。AグループとBグループの違いは、Bグループには“有”が使われているところにある。ここでの“有”は、既に文法化して、「所有」を表わす“有”とは無関係である。“噠”は否定詞“勿”とムード詞“啦”の合成語の可能性はある。(湯珍珠他 1996)

朱彰年他 1996 には、“勿”という見出し語がない代わりに、“噫啦”という見出し語が挙げられている。“噫啦”は助詞で、“噫”と同じ意味だが、もっと強いムードを表わすと説明している。

3.2.3. 以上見てきた“勿”と“噫”に関する朱彰年他の記述と湯珍珠他の記述の違いを整理すると、(35)のようになる。

(35)

a. 朱: “勿” = 記述なし。 “噫” = va^2 (陽入)

b. 湯: “勿” = ve^2 。¹²

“噫” = “勿” ve^2 (陽入) + “啦” la^{53} (陰平) → va^{24} (陽平)

3.3. 否定詞としての“噫”

3.3.1. 朱彰年他 1996 は、“勿”の発音について記述していない。“勿”の声調が陽入であることから、朱彰年他の体系では“勿”が“噫”と同じように va^2 と記述すべきだと判断できる。即ち、朱彰年他の体系では“勿”と“噫”の音声形態が同じであることになる。一方、湯珍珠他 1996, 1997 は、前にも述べたように、“勿”と“噫”を区別している。しかし、その区別の仕方には確証はなく、聴覚だけでは、朱彰年他 1996 のように、両者を区別しない結果になる可能性もある。

果たして、“噫”に“啦” (la^{53}) が含まれる必然性があるだろうか。音韻的に見れば、 $ve^2 + la^{53} \rightarrow va^{24}$ にはかなり無理がある。“ la^{53} ”の“l”を脱落させるのは音声上難しいし、また声調から見ても、陽入+陰平→陽平という結果も不自然である。中国語では、 $X+Y \rightarrow Z$ の形で合成語が生まれる場合、新しく生まれた Z の声調は Y の声調を受け継ぐのが普通である。しかし陽入+陰平→陽平では、Z の声調は X でもなく Y でもない。筆者の確認したところでは、文末の“噫”は低調であって、少なくとも上昇の 24 ではない。かりに低調が上昇調 24 の軽声だとすれば、“噫”は文法上の性質から常にこの位置に置かれるため、基本調値で発話されるチャンスがないのである。従って、“噫”の基本調値を 24 とするのは適切な記述ではないと考えられる。

3.3.2. 文法の観点から見れば、湯珍珠他 1996 の言うように、“噫”が“勿”と“啦”の合成語であるなら、寧波方言では“VP-neg”式反復疑問文には常に

ムード詞“啦”が付くことになる。⁷しかし、“VP-neg”式反復疑問文の“neg”の位置に出現できる否定詞には“勿”と“会”の合成語“𨾏”⁸もある。(36a)のように、“啦”は使わない可能性もある。このことから分かるように、“VP-neg”式反復疑問文は常にムード詞“啦”を必要とするわけではないのである。

- (36) a.[寧波語] 其 明朝 西湖 会 去 𨾏?
 [標準語] 他 明天 会 去 不 会 西湖?
 彼はあした西湖へ行きますか。
- b.[寧波語] 其 明朝 西湖 会 去 嘖?
 [標準語] 他 明天 会 去 西湖 不?
 彼はあした西湖へ行きますか。

従って、本稿は(35a)の“嘖”= va^2 という朱彰年他 1996 の記述を採用する。朱彰年他 1996 では、“勿”について記述していないが、“勿”も陽入であるため、音韻の上では va^2 =“嘖”=“勿”となる。ただし、“嘖”が“吗”に相当する⁹という記述には賛成できない。“吗”に相当するなら、イエスノー疑問文になる。しかし、“嘖”を用いた疑問文(37)は、“到底”と共起できることから、イエスノー疑問文ではないことが分かる。疑問詞がない、即ち非明示的選択肢がないことから、疑問詞疑問文ではない。明示的選択肢があるが、選択肢の追加ができないのであるから、選択疑問文ではない。 va^2 =“嘖”=“勿”であるから、 va^2 で終わる疑問文は“VP-neg”式反復疑問文である。従って、文末の va^2 は否定詞であると考えられる。ただし、漢字表記としては、寧波方言の習慣に従い、“嘖”と書くことにする。

- (37) [寧波語] 侬 明朝子 西湖 到底 去 嘖?
 [標準語] 你 明天 到底 去 西湖 不 去?
 君はあしたいったい西湖へ行くのか、行かないのか。

⁷ (34)の非合成形式“勿啦”にも“啦”が付いている。

⁸ 朱彰年他 1996 では、文字形態は左右ではなく、上下になっている。

3.3.3. (37)が反復疑問文であることは、その他の現象からも検証することができる。反復疑問文が肯定と否定の繰り返しによって構成されるということは、疑問のモダリティの担い手は構文それ自体であるということである。肯定の部分がさらに否定されれば、“negP-neg”になり、もはや疑問のモダリティを担う“VPneg”ではなくなる。そのため、“negP-neg”で疑問のモダリティを表すことができなくなり、結果として否定構文に“噫”の付いた(38)は、推量のモダリティを表す文になる。推量文は反復疑問文のように複数選択肢を持たないため、(39)に示されるように、“到底”と共に起ることができないのである。

(38) [寧波語] 其 恐怕 鯨 来了 噫? (朱彰年他 1996)

[標準語]*他 大概 不会 来了 不?

彼は多分来ないでしょう?

(39) [寧波語]*其 到底 鯨 来了 噫?

[標準語]*他 到底 不会 来了 不?

“噫”による疑問文が“吗”による疑問文と異なることは、応答の違いにも見られる。標準語では、(40)の問に対する答は、“是的”が許容される。それに対して、(42)の“噫”による疑問文は、(41)の“V-neg-V”式反復疑問文と同じように、“是咯”による答えを許容しない。この事実は、“噫”による疑問文が“吗”による疑問文、即ちイエスノー疑問文ではないことを物語っている。

(40) [標準語]問: 他 明天 去 西湖 吗?

答: 是 的。

問: 彼はあした西湖へ行きますか。

答: ええ。

(41) [寧波語]問: 其 明朝 西湖 去 弗 去?

[標準語]問: 他 明天 去 不 去 西湖?

[寧波語]答:*是 咯。

[標準語]答:*是 的。

問: 彼はあした西湖へ行きますか。

答:(ええ。)

- (42) [寧波語]問: 其 明朝 西湖 去 嘍?
 [標準語]問: 他 明天 去 西湖 不?
 [寧波語]答: *是 咯。
 [標準語]答: *是 的。
 問: 彼はあした西湖へ行きますか。
 答: (ええ。)

4. 寧波方言反復疑問文の語順問題

中国語は SVO 型の言語であるが、寧波方言の反復疑問文には、次の(43)のような、意味上の目的語が動詞の前に移動した SSV 型の語順が見られる。この節では、このような語順交替の現象について観察する。

- (43) [寧波語] 其 明朝 西湖 去 弗 去? (SSV)
 [標準語] 他 明天 西湖 去 不 去?
 彼はあした西湖へ行きますか。

4.1. 疑問文における語順交替は、寧波方言だけに起こることではなく、朱德熙 1991 によれば、北方方言である陝西省清澗方言と青海省西寧方言の反復疑問文にも、目的語の名詞が動詞の前に移動して主語になる傾向があると言う。

このような目的語の主題化はなぜ生じるのであろうか。朱德熙 1991 はその理由については言及していないが、寧波方言について言えば、次のような傾向がある。

- (44) 肯定文、あるいは否定文のいずれかに目的語の移動が生じる場合には、反復疑問文に目的語の移動が生じる。

4.2. (45)は動詞“去”(行く)を述語とする文である。未来・肯定の場合は SVO の語順を取るが、未来・否定の場合は SSV の語順になる。そのため、(46)のように、反復疑問文(“V-neg-V”式と“VP-neg”式)はいずれも SVO ではなく、SSVになる。

- (45) a.[寧波語] 其 明朝 去 西湖。(SVO) [未来・肯定]
 [標準語] 他 明天 去 西湖。
 彼はあした西湖へ行きます。
- b.[寧波語]*其 明朝 西湖 去。(SSV) [未来・肯定]
 [標準語]*他 明天 西湖 去。
 (彼はあした西湖へ行きます。)
- c.[寧波語] 其 明朝 西湖 弗 去。(SSV) [未来・否定]
 [標準語] 他 明天 西湖 不 去。
 彼はあした西湖へ行きません。
- d.[寧波語]*其 明朝 弗 去 西湖。(SVO) [未来・否定]
 [標準語] 他 明天 不 去 西湖。
 (彼はあした西湖へ行きません。)
- (46) a.[寧波語] 其 明朝 西湖 去 弗 去? (SSV) [未来・疑問]
 [標準語] 他 明天 西湖 去 不 去?
 彼はあした西湖へ行きますか。
- b.[寧波語]*其 明朝 去 弗 去 西湖? (*SVO) [未来・疑問]
 [標準語] 他 明天 去 不 去 西湖?
 (彼はあした西湖へ行きますか。)
- c.[寧波語] 其 明朝 西湖 去 噯? (SSV) [未来・疑問]
 [標準語] 他 明天 去 西湖 不?
 彼はあした西湖へ行きますか。
- d.[寧波語]*其 明朝 去 西湖 噯? (*SVO) [未来・疑問]
 [標準語] 他 明天 去 西湖 不?
 (彼はあした西湖へ行きますか。)

(47)は非未来・肯定の用例であるが、肯定文はSSVの語順を取る。否定文は、SVOとSSVの両方がある。SVOが無標の形式であるのに対して、SSVの2番目のSは既知の情報であり、主題化されている。この点、標準語と平行している。反復疑問文の(48)では、“VP-neg”がSSVの語順を取るのに対して、“V-neg-V”式は、否定文の場合と同じように、SVOとSSVの両方の語順が成立する。

- (47) a. [寧波語] 其 昨末 吃 勒 一 只 苹果。(SVO) [非未来・肯定]
 [標準語] 他 昨天 吃了 一 个 苹果。
 彼は昨日リンゴを食べた。
- b. [寧波語] 其 昨末 既 没 吃 苹果。(SVO) [非未来・否定]
 [標準語] 他 昨天 没 吃 苹果。
 彼は昨日リンゴは食べなかった。
- c. [寧波語] 其 昨末 苹果 既 没 吃。(SSV) [非未来・否定]
 [標準語] 他 昨天 苹果 没 吃。
 彼は昨日リンゴは食べなかった。
- (48) a. [寧波語] 其 昨末 吃 苹果 勒 嘞? (SVO) [非未来・疑問]
 [標準語] 他 昨天 吃 苹果 了 没有?。
 彼は昨日リンゴを食べたか。
- b. [寧波語] 其 昨末 苹果 吃 勒 嘞? (SSV) [非未来・疑問]
 [標準語] 他 昨天 苹果 吃了 没有?
 彼は昨日リンゴを食べたか。
- c. [寧波語] 其 昨末 吃 既 没 吃 苹果? (SVO) [非未来・疑問]
 [標準語] 他 昨天 吃 没 吃 苹果?。
 彼は昨日リンゴを食べたか。
- d. [寧波語] 其 昨末 苹果 吃 既 没 吃? (SSV) [非未来・疑問]
 [標準語] 他 昨天 苹果 吃 没 吃?
 彼は昨日リンゴを食べたか。

4.3. (49)は結果の継続である。肯定・否定・疑問はいずれもSSVの語順を取る。(50)は動作の継続の例であるが、肯定・否定ともにSVOの語順を取り、(50c)の反復疑問文もSVOである。

- (49) a. [寧波語] 其 该 响 屋里 来 当。(SSV) [結果継続・肯定]
 [標準語] 他 这会儿 在 家里。
 彼はいま家にいます。
- b. [寧波語] 其 该 响 屋里 既 没 来 当。(SSV) [結果継続・否定]
 [標準語]*他 这会儿 家里 不 在。
 彼はいま家にいません。

- c.[寧波語] 其 昨末 屋里 既没 来的。(SSV) [結果継続・否定]
 [標準語]*他 昨天 家里 不在。
 彼はきのう家にいませんでした。
- d.[寧波語] 其 该响 屋里 有 来的 哦?(SSV) [結果継続・疑問]
 [標準語]*他 这会儿 家里 在 不?
 彼はいま家にいますか。
- e.[寧波語] 其 昨末 屋里 有 来的 哦?(SSV) [結果継続・疑問]
 [標準語]*他 昨天 家里 在 不?
 彼は昨日家にいましたか。
- (50) a.[寧波語] 其 来的 看 电视。(SVO) [動作継続・肯定]
 [標準語] 他 在 看 电视。
 彼はテレビを見ている。
- b.[寧波語] 其 既没 来的 看 电视。(SVO) [動作継続・否定]
 [標準語] 他 没 在 看 电视。
 彼はテレビを見ていない。
- c.[寧波語] 其 来 既没 来的 看 电视?(SVO) [動作継続・疑問]
 [標準語] 他 在 没 在 看 电视?
 彼はテレビを見ていますか。

4.4. (51)と(52)は完了を表わす文であるが、非未来の場合と同様、否定文と疑問文にSVOとSSVの両方の語順が成立し、SVOが無標で、SSVが有標である。

- (51) a.[寧波語] 其 吃勒 一 只 苹果。(SVO) [完了・肯定]
 [標準語] 他 吃了 一 个 苹果。
 彼はリンゴを食べた。
- b.[寧波語] 其 既没 吃 苹果。(SVO) [完了・否定]
 [標準語] 他 没 吃 苹果。
 彼はリンゴは食べていない。
- c.[寧波語] 其 苹果 既没 吃。(SSV) [完了・否定]
 [標準語] 他 苹果 没 吃。
 彼はリンゴは食べていない。

- (52) a.[寧波語] 其 吃 苹果 勒 嘍? (SVO) [完了・疑問]
 [標準語] 他 吃 苹果 了 没有?
 彼はリンゴを食べたか。
- b.[寧波語] 其 苹果 吃 勒 嘍? (SSV) [完了・疑問]
 [標準語] 他 苹果 吃了 没有?
 彼はリンゴを食べたか。
- c.[寧波語] 其 吃 嘍 没 吃 苹果? (SVO) [完了・疑問]
 [標準語] 他 吃 没 吃 苹果?
 彼はリンゴを食べたか。
- d.[寧波語] 其 苹果 吃 嘍 没 吃? (SSV) [完了・疑問]
 [標準語] 他 苹果 吃 没 吃?
 彼はリンゴを食べたか。

4.5. 例外的な振舞いを見せたのは“是”を述語とする文である。肯定、否定ともにSVOの語順を取る。その反復疑問文はSVOであるはずだが、“VP-neg”式の場合にだけSSVの語順を取る(54c)も成立する。

- (53) a.[寧波語] 其 是 宁波人。(SVO) [“是”・肯定]
 [標準語] 他 是 宁波人。
 彼は寧波人です。
- b.[寧波語]*其 宁波人 是。(*SSV) [“是”・肯定]
 [標準語]*他 宁波人 是。
 (彼は寧波人です。)
- c.[寧波語] 其 弗 是 宁波人。(SVO) [“是”・否定]
 [標準語] 他 不 是 宁波人。
 彼は寧波人ではありません。
- d.[寧波語]*其 宁波人 弗 是。(*SSV) [“是”・否定]
 [標準語]*他 宁波人 不 是。
 (彼は寧波人ではありません。)
- (54) a.[寧波語] 其 是 弗 是 宁波人? (SVO) [“是”・疑問]
 [標準語] 他 是 不 是 宁波人?
 彼は寧波人ですか。

- b.[寧波語] 其是寧波人嗎? (SVO) [“是”・疑問]
 [標準語] 他是寧波人不?
 彼は寧波人ですか。
- c.[寧波語] 其寧波人是嗎? (SSV) [“是”・疑問]
 [標準語]*他寧波人是 不?
 彼は寧波人ですか。
- d.[寧波語]*其寧波人是 不是? (*SSV) [“是”・疑問]
 [標準語]*他寧波人是 不是?
 (彼は寧波人ですか。)

4.6. 寧波方言では、これまでに観察した「動作」の表現と対立する形で、「習慣」を表わす表現がある。⁹肯定、否定ともに語順の変化が起こらないため、疑問文も必ずSVOの語順を取る。

- (55) a.[寧波語] 我弗吃茶, 我吃咖啡。(SVO)
 [標準語] 我不喝茶, 我喝咖啡。
 僕はお茶は飲みません。僕はコーヒーを飲みます。
- b.[寧波語] 依吃茶嗎? (SVO)
 [標準語] 你喝茶不?
 君はお茶を飲みますか。

4.7. 以上観察した寧波方言における反復疑問文の語順の状況をまとめると、次の表3のようになる。

⁹ 「習慣」と「動作」を区別する方言は、寧波方言だけではない。刘勳宁 1998によれば、青海省の西寧方言では「動作」を聞く場合と「習慣」を聞く場合が、次のようにはっきりと区別されていると言う。

- | | | | |
|----|---------------|--------------|------|
| a. | 你羊肉吃(哩)不? | 吃俩。/不吃。 | [動作] |
| | 君は羊の肉でも食べますか。 | 食べます。/食べません。 | |
| b. | 你羊肉吃者没? | 吃者。/没吃着。 | [習慣] |
| | 君は羊の肉を食べますか。 | 食べます。/食べません。 | |

(56) 表 3

	動 作						習 慣
	未 来	非未来	結果継続	動作継続	完 了	是	
肯定	SVO	SVO	SSV	SVO	SVO	SVO	SVO
否定	SSV	SVO SSV	SSV	SVO	SVO SSV	SVO	SVO
疑問	SSV	SVO SSV	SSV	SVO	SVO SSV	SVO SSV	SVO

5. まとめ

以上、寧波方言の反復疑問文をめぐるさまざまな問題に対して、標準語と比較しつつ分析を行った。第1節では、標準語のデータに基づいて、選択肢の項目数に基づく新たな疑問文の分類方法を提案した。第2節では、動詞の否定文における否定詞の使用分布と“V-neg-V”式反復疑問文における否定詞の分布が一致することと、形容詞の場合はこのような一致関係が認められないことを明らかにした。第3節では、第1節で提案した疑問文の分類基準に基づいて、寧波方言の“噠”疑問文の“噠”が否定詞であり、従って“噠”疑問文は“VP-neg”式反復疑問文であることを証明した。第4節では、反復疑問文に見られる目的語の主題化について観察し、肯定文、あるいは否定文のいずれかに目的語の主題化が生じる場合、その反復疑問文にも目的語の主題化が生じる傾向があることを明らかにした。

追記：本稿は、「現代中国語研究会」(2000年10月1日、東京)で口頭発表した内容に加筆したものである。寧波方言の用例は、中国浙江大学の徐萍飛氏に提供していただいた。

参考文献

范继淹 1982, 是非问句的句法形式, 中国语文, 第6期。

林璋, 佐佐木勲人 2000, 福州語文法概要, 『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書』平成11年度Ⅲ (Part I)。

- 林璋, 佐佐木勳人, 徐萍飛(印刷中), 寧波語文法概要, 『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書』平成12年度IV。
- 刘勳宁 1998, 秦晋方言的反复问句, 《现代汉语研究》, 北京语言文化大学出版社。
- 陆俭明 1982, 由“非疑问形式+呢”造成的疑问句, 中国语文, 第6期。
- 木村英樹 1982, 中国語, 『講座日本語・11 外国語との対照Ⅱ』, 明治書院。
- 邵敬敏 1999, 关于疑问句的研究, 吕叔湘他著, 马庆株编《语法研究入门》, 商务印书馆。
- 汤珍珠, 陈忠敏, 吴新贤 1996, 《宁波方言词典》引论, 方言, 第1期。
- 汤珍珠, 陈忠敏, 吴新贤 1997, 《宁波方言词典》, 江苏教育出版社。
- 袁毓林 1993, 正反问句及相关的类型学参项, 中国语文, 第2期。
- 游汝杰 1993, 吴语里的反复问句, 中国语文, 第2期。
- 朱德熙 1985, 汉语方言里的两种反复问句, 中国语文, 第1期。
- 朱德熙 1991, “V-neg-VO”与“VO-neg-V”两种反复问句在汉语方言里的分布, 中国语文, 第5期。
- 朱彭年, 薛恭穆, 汪维辉, 周志锋 1996, 《宁波方言词典》, 汉语大词典出版社。
- 中川正之 1984, 中国語——とくに助詞「も」に対応する一音節副詞をめぐって——, 『講座日本語・11 外国語との対照Ⅱ』, 明治書院。